住友商事

Enriching lives and the world

住友商事ビジネスレポート

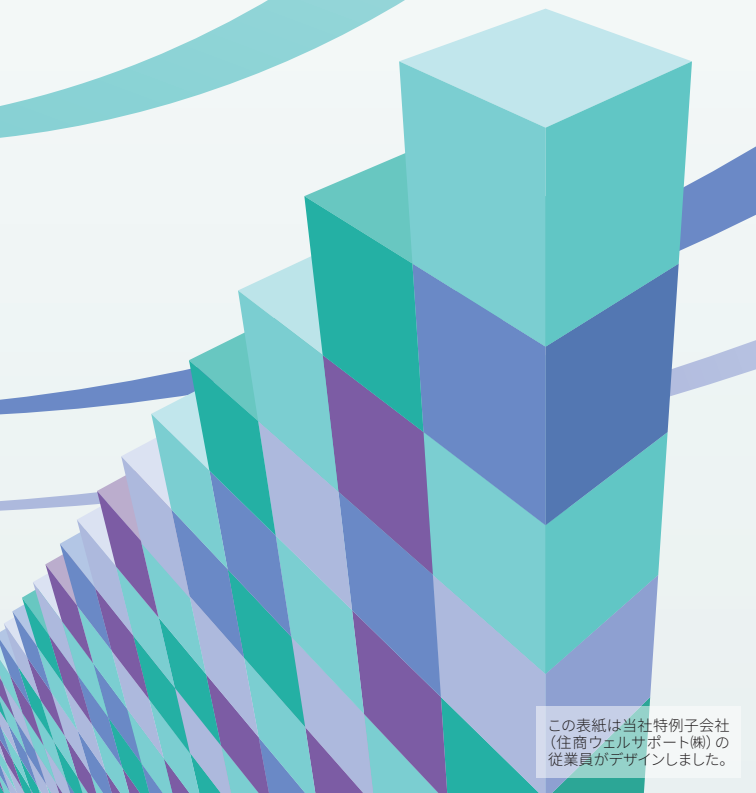
SC NEWS

第157期上半期 株主通信

2024年4月1日▶2024年9月30日

証券コード 8053

Enriching lives and the world



この表紙は当社特例子会社（住商ウェルサポート㈱）の従業員がデザインしました。

株主の皆様へ

株主の皆様には平素は格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。第157期上半期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

代表取締役
社長執行役員 CEO　**上野 真吾**

今年度から始まった中期経営計画2026では、各事業が中計のテーマである「No.1事業群」を目指した戦略の遂行に取り組んでおり、2024年度上半期の当期利益は2,540億円となりました。リース事業が堅調に推移したことや海外発電事業が好調に推移した一方で、豪州石炭事業における価格下落の影響や前年同期の一過性損益の反動等から、前年同期比309億円の減益となりました。

下半期は、セグメント毎に差はあるものの全体として概ね順調に推移する見込みであり、通期の業績見通しは、本年5月公表時の5,300億円を据え置きました。これを受け、当社の株主還元方針を踏まえた当期の年間配当金予想は1株当たり130円（前期比5円の増配）を据え置き、中間配当金は1株当たり65円（前期比2.5円の増配）としています。

中期経営計画2026では、成長分野で強み・競争優位のある事業に重点的に資本投下し、成長の原動力である人・組織を強化することで、経営資源の再配分による事業ポートフォリオ変革を加速させ、3年間で1,500億円の利益成長を目指しています。計画した投融資・資産入替を着実に実行し、社会課題の解決を通じた成長を実現してまいります。

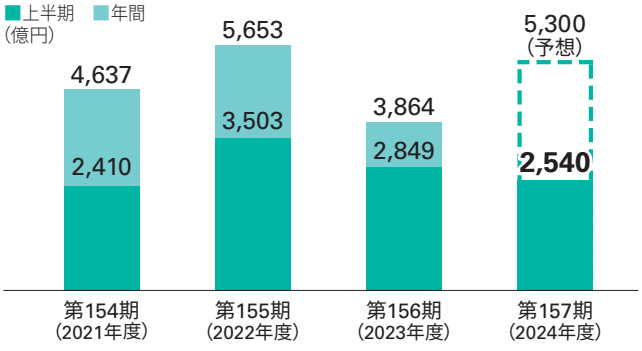
株主の皆様には、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

第157期（2024年度）上半期の決算情報については
コーポレートサイトをご参照ください。

連結業績ハイライト

▶連結純利益



セグメント別業績

当期利益（単位：億円）　上：第156期（2023年度）上半期　下：第157期（2024年度）上半期

	当期利益	主な増減要因
鉄鋼	407 **352**	●**鋼管：**北米鋼管事業 市況軟化 ●**鋼材：**堅調に推移
自動車	376 **234**	●**自動車流通販売：**堅調に推移 ●**タイヤ：**前年同期 一過性利益あり ●**自動車製造・エンジニアリング：**当期 一過性損失あり
輸送機・建機	334 **388**	●**輸送機：**リース事業・船舶事業を中心に堅調に推移 ●**建設機械：**建設需要の伸びの鈍化、償却費等のコスト負担増により減益
都市総合開発	225 **205**	●**国内不動産事業：**堅調に推移
メディア・デジタル	232 **82**	●**エチオピア通信事業：**立ち上げコスト増加及び現地通貨切り下げに伴う為替評価損あり ●**国内主要事業：**堅調に推移 ●**メディア事業：**前年同期 一過性利益あり
ライフスタイル	24 **26**	●**ヘルスケア：**国内事業にて調剤報酬改定の影響あり ●**欧米州青果事業：**メロン事業不調なるもバナナ・パイナップル事業好調
資源	444 **504**	●**アルミ：**価格上昇 等 ●**豪州石炭事業：**石炭価格下落 ●**非鉄金属：**当期 一過性利益あり
化学品・エレクトロニクス・農業	164 **148**	●**アグリ事業：**農業資材の販売数量減、前期の天候不順による影響が継続 ●**ライフサイエンス：**当期 一過性利益あり
エネルギートランスフォーメーション	425 **589**	●**海外発電事業：**好調に推移
消去又は全社	219 **11**	●社内制度変更の影響あり

当社は、2024年4月1日付で、「事業部門」・「エネルギーイノベーション・イニシアチブ」及び「本部」・「部」を廃止し、戦略事業単位である「Strategic Business Unit」（SBU）をベースとした組織運営を行っております。SBUを束ねる組織として、新たに9グループを設置しております。これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報は、組替えて表示しております。

インフォメーション

当社コーポレートサイトでは、株主の皆様へ最新の情報を随時発信しています。ぜひご覧ください。

テレビCM「課題解決を通じた価値創造 GX」編を公開

当社は、8月にテレビCMシリーズ第二弾「課題解決を通じた価値創造　GX（グリーントランスフォーメーション）」編を公開しました。

昨年の第一弾に続き、100年先の未来からやってきた少女の目線で、コーポレートメッセージ「Enriching lives and the world」を体現する、現在手掛けている事業や、そこで働く社員を通して、当社グループが豊かな世界を創造していく姿を紹介しています。第二弾では、中期経営計画2026のテーマでもある「No.1事業群」を目指す具体的な事業としてGX領域を取り上げました。当社グループが「社会のカーボンニュートラル化と安定した電力供給の両立」という、未来を見据えた長期プロジェクトにおいて、ステークホルダーと共に社会課題の解決を通じた価値創造に取り組んでいくことを伝えています。

テレビCMはこちら

「統合報告書2024」発行/サステナビリティディスクロージャーサイトのご案内

当社グループの中長期的な成長ストーリーをお伝えする「統合報告書2024」を9月に発行しました。今年度版では、中期経営計画2026のテーマである「No.1事業群」の核となる競争優位性を掘り下げつつ、現中計の狙いと施策の説明を通じて、当社グループのこれからの力強い歩みをステークホルダーの皆様に感じていただくことをテーマとしています。

サステナビリティディスクロージャーサイトでは、非財務情報のうち、サステナビリティに関する当社の活動の詳細情報をESG（環境・社会・ガバナンス）の観点で開示しています。当社コーポレートサイト上で公開し、適時に改定を行うことで、ステークホルダーの皆様に最新の関連情報を提供します。当社グループをご理解いただく一助となれば幸いです。

「統合報告書2024」はこちら

「サステナビリティディスクロージャーサイト」はこちら

デジタルで磨き、デジタルで稼ぐ

中期経営計画2026のテーマは「No.1事業群」。それぞれの事業が競争優位を磨き、社会課題解決を通じた成長を目指していますが、さらなる成長の加速のために「デジタルで磨き、デジタルで稼ぐ」をスローガンに掲げ、社内のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するとともに、これまで蓄積してきたデジタル戦略のノウハウを個々のビジネス現場に展開・新たな強みを育成しながら、収益を拡大していきます。

社内のDXにおいては、AIやこれまでに蓄積したデータの利活用により意思決定を迅速化・高度化するほか、生成AIについては、日本企業で初めてMicrosoft 365 Copilot*をグローバル含む全社に導入しました。生成AIを活用することで、社員の働き方を変革し、一人一人がよりクリエーティブな仕事に取り組むことで、創造性と生産性を向上させていきます。

ビジネスの現場においては、当社グループでDXの技術専門会社であるInsight Edge、データマーケティングを支援するSCデジタルと共に、DXによる事業変革を推進しています。一例として、日本最大級の売上高を誇るショッピング専門チャンネルを運営するジュピターショップチャンネルでは、これまでに蓄積したお客様や商品に関する豊富で膨大なデータにAIを組み合わせ、最適な番組表の自動編成による売上最大化、注文予測の精度向上、問い合わせ対応の品質向上等をこれまで以上に加速させるべく、さまざまな取り組みを推進しています。

デジタルとAIの進化によるイノベーションを取り入れ、当社グループとして世界に新たな価値を提供することに、グループ一丸となって挑戦していきます。

＊ Microsoft 365 Copilot：
Microsoft 社のアプリ（Word, Excel, Power Point, Teams等）に統合されたAIアシスタント

住商が目指す「デジタルで磨き、デジタルで稼ぐ」とは？
“DXの旗振り役”巽CDO・CIOに聞いてみた ▶

エミテラス所沢開業

当社と西武グループが埼玉県所沢市の所沢駅西口において共同で開発を推進した広域集客型商業施設「エミテラス所沢」が9月に開業しました。商業フロア4層に142の多様な店舗を展開しています。

施設中央に位置する大規模吹き抜け空間「TOKOROZAWA e-CUBE」には、国内の商業施設で最大級の大型LEDビジョン、プロジェクター、ムービングライト、スピーカーを設置し、日常的にデジタルコンテンツを展開するほか、e-スポーツ、音楽イベント等を開催し、さまざまな体験・体感を提供しています。また、森をイメージした約1,000席のフードゾーンには、新業態、エリア初出店となる店舗等が軒を連ねています。

サステナビリティの取り組みとして、施設屋上に太陽光パネルを設置して発電すること及びFIT非化石証書*活用により施設の使用電力を実質CO_2排出ゼロとする取り組みを行っており、環境性能の高い建築物に与えられる認証も取得しています。

本施設の開発は、当社が商業施設開発において大切にしている「地域メイド（地域が育んできた価値や特性に合わせた開発）」のスタンスと、「楽しく、快適で、何度でも来たくなる居心地の良い空間の創出を目指す」という「Terraceの思想」をベースにしています。また、資機材調達や携帯通信環境の構築、スーパーマーケット「サミットストア」、ドラッグストア「トモズ」の出店等、当社グループの総合力を結集しています。引き続き、「エミテラス所沢」が所沢の中心となって発展していくよう魅力を高めていきます。

＊ FIT非化石証書：
「化石燃料を用いずに作られた電力であること」を証書化したもの

©西武リアルティソリューションズ

所沢駅西口にエミテラス所沢開業！西武グループと
住商が10年にわたり取り組んだ街づくり ▶

会社概要（2024年9月30日現在）

会社名　住友商事株式会社
設　立　1919年12月
資本金　2,210億円
本　社　〒100-8601 東京都千代田区大手町二丁目3番2号
大手町プレイス イーストタワー
TEL：03-6285-5000（代表）

ホームページ
https://www.sumitomocorp.com/ja/jp
株式情報については投資家情報ページをご覧ください。

LinkedIn
https://www.linkedin.com/company/sumitomocorporation/

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	（定時株主総会・期末配当）毎年3月31日 （中間配当）毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京
証券コード	8053
公告の方法	電子公告 https://www.sumitomocorp.com/ja/jp （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。）

【株式に関する各種お手続き】

- **証券会社に口座を開設されている株主様**
  株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。
- **証券会社に口座を開設されていない株主様（特別口座が開設されている株主様）**
  以下の当社特別口座管理機関にお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）0120-782-031
（ウェブサイト）https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
（よくあるご質問（FAQ）のURL）https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

※株券電子化前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様には、当社特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社に特別口座を開設しています。

VEGETABLE OIL INK

Green Power WIND

本冊子は環境に優しい植物油インキと印刷にかかる電力は全量（1,000kWh）風力発電を使用しています。